

日本学術会議食料科学委員会畜産学分科会主催公開シンポジウム

「和牛の地方特定品種の重要性」

日時：2019年7月18日（木）13時～16時30分

場所：高知大学農林海洋科学部 5-1 講義室

プログラム

写真：褐毛和種高知系

司会進行 枝重 圭祐（日本学術会議連携会員、高知大学農林海洋科学部教授）

開会の挨拶 尾形 凡生（高知大学農林海洋科学部長）

「無角和種の歩いた道 ―誕生から現在に至るまで―」

松本 容二（山口県農林総合技術センター畜産技術部 家畜改良研究室長）

「岩手県における日本短角種の現状と振興方策について」

安田 潤平（岩手県農業研究センター畜産研究所家畜育種研究室 主査専門研究員）

「熊本系褐毛和種の生産振興に向けた取り組み」

齋藤 公治（熊本県農業研究センター畜産研究所 生産基礎技術研究室長）

「土佐あかうしの紹介と生産振興について」

公文 喜一（高知県農業振興部畜産振興課 生産振興担当チーフ）

「高知大学における希少家畜の保全・生産振興への取り組み」

松川 和嗣（高知大学農林海洋科学部准教授）

総合討論

座長 眞鍋 昇（日本学術会議第二部会員、大阪国際大学学長補佐・人間科学部教授、独立行政法人家畜改良センター理事）

閉会の挨拶 眞鍋 昇



主催：日本学術会議食料科学委員会畜産学分科会、共催：日本畜産学アカデミー、後援：高知大学
問い合わせ先：高知大学 農林海洋科学部・枝重圭祐、E-mail：keisuke@kochi-u.ac.jp
参加申し込みは不要です。是非ご来場下さい。